



東秋留小学校では平成23年度からクラブ活動の一つとして歌舞伎クラブが発足し、子どもたちは明治時代から地元に伝わる秋川歌舞伎の習得に励んでいます。指導は秋川歌舞伎保存会の方々があたり、演技指導だけでなく、衣装や舞台の準備など、全面的に支援をしています。世代を超えて地域の伝統を受け継ぐ活動を通じて、子どもたちの心の中には「あきる野が私たちのふるさと」という郷土への愛着が育まれています。(写真は歌舞伎クラブによる「絵本太功記二段目 本能寺の場」。写真提供: 秋川歌舞伎保存会)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



市民の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は、皆様と「協働のまちづくり」を基調とした市政運営に取り組みまいりました。

昨年秋の東京多摩国体では「ソフトボール」「自転車ロードレース」「馬術」の3競技が市内各会場で開催され、多くの市民ボランティアや各関係団体の皆様のご協力により、大きな盛り上がりの中で無事に終了することができました。誠にありがとうございました。

さて、昨年4月から「東京のふるさと・あきる野」の素晴らしさを広く情報発信するために、五日出張所に「地域活性化協働センター」を設置し、観光施策と環境施策を連動させた取組を始めました。

今年も引き続き「秋川渓谷」のブランド化に向けて、市民の皆様との協働により、「情報発信とPR」「地域資源の発掘と活用」「観光客へのおもてなし」に取り組み、観光産業の発展につなげてまいります。

また、変化に富んだ豊かな自然環境が生み出した、トウキョウサンショウウオやクマタカ、あるいはカタクリなどに代表される数多くの生き物たちの豊かな個性とつながりを守りながら、持続的に地域の自然環境の活用を図り、次世代の子どもたちや将来の世代に引き継ぐための取組として、「あきる野市生物多様性地域戦略」を策定するなど、環境施策の充実にも合わせて取り組んでまいります。

一方、皆様の日々の生活に身近なこととして、西秋川衛生組合のごみ処理施設の新炉が完成し稼働を開始することに伴い、1月からごみの出し方が一部簡略化されます。また、3月には五日市線を横断し、五日市街道と睦橋通りを結ぶ雨間立体がいよいよ開通し、南北方向の交通体系が大幅に改善されてまいります。

今年も多くの市民の皆様とともに、誇りを持てるまちづくりをさらに推進し、「人と緑の新創造都市」の実現に向けて取り組んでまいります。年頭にご多幸を祈念するとともに、市政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

あきる野市長 白井 孝